



祝・開校50周年

七小だより

<https://www.hino-tky.ed.jp/e-hino7/>



No. 3

令和5年6月1日(木)
日野市立日野第七小学校
校長 大西 浩之
TEL 042-583-3907



「咲き続け！輝け！唯一無二の七桜！」

校長 大西 浩之

七小の桜が、また3本無くなってしまいました。齢を重ね移植することも難しい状態でしたので致し方ないのですが、数十年前から「桜の学校」として地域からも愛されてきた学校を囲む桜です。

先日、開校50周年記念の航空写真を撮りましたが、撮影前に、開校当時から10周年ごとに撮影してきた航空写真を子供たちに紹介しました。開校当時の写真には桜はありませんでしたが、10周年には既に立派な桜の木が校庭を見事に囲っていました。教育委員会の計らいで移植されたものでした。40周年もまだ囲まれていましたが、ここ数年で伐採せざるを得ない木が出始めていて、現在、5本の苗木が植えられています。

七小の子供たちは、桜を七小のシンボルとして「七桜」と呼んでいます。昨年度、子供たちで決めた50周年記念キャッチフレーズには「七桜」が入っています。ゆるキャラ「ななせみくん」の胸にも「七桜」が刻まれています。それだけ子供たちの心にも七小の桜を大切にしたいという思いが宿っています。

そんな子供たちが、今回伐採した桜を何とか利用できないかと、「七桜再利用プロジェクト」を立ち上げました。具体的などころはこれからになりますが、地域の方や専門としている方から教えていただきながら、形として残るものができ、子供たちの心にも、「咲き続け、輝いて」いくことを願っています。

さて、50周年の記念行事ですが、今後の予定について紹介しておきます

○8月31日(木) **全校オーケストラ鑑賞教室**
(ひの煉瓦ホール・大ホール貸切)

※東京都「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」

○9月30日(土) **50周年記念「七小体育の日」**

○10月26日(木) **50周年を祝う会**

※全校集会・バルーンリリース・ドローン撮影など

○11月11日(土) **50周年記念「七小芸術祭」**

50周年記念式典(6年生参加)

6月の行事予定

	曜	学校行事等
1	木	歯科(5・6)・遠足(2)
2	金	学校公開
3	土	学校公開・セーフティ教室・ 4時間授業・学校説明会
4	日	
5	月	振替休業日
6	火	避難訓練
7	水	4時間授業・B時程・自転車安全 教室(4)・歯科(1・2)
8	木	歯科(3・4)
9	金	安全指導
10	土	
11	日	
12	月	クラブ③・読書週間始
13	火	内科(6)
14	水	4時間授業・都学力調査(4)・交 通安全教室(12356)
15	木	日光移動教室(6)・給食試食会② 歯磨き週間始
16	金	日光移動教室(6)
17	土	4時間授業(1～5)・土曜授業日・日光 移動教室(6) 福祉体験学習(4)
18	日	
19	月	振替休業日
20	火	水泳指導始・水道キャラバン(4)
21	水	歯磨き週間終
22	木	
23	金	読書週間終
24	土	
25	日	
26	月	クラブ④
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	

6月の目標

生活指導目標「健康や安全に気をつけて生活しよう」

「校舎内でのあいさつをきちんとしよう」

保健目標「歯を大切にしよう」

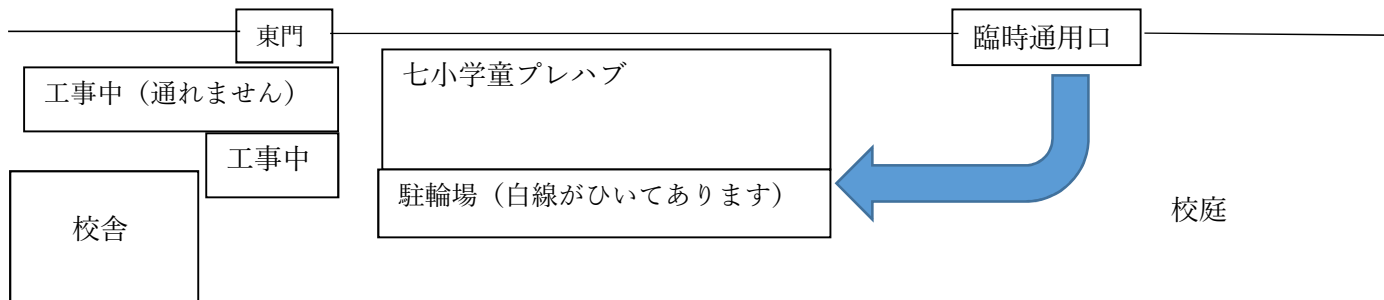
給食目標「食事の前後はきれいにしよう」

6月の学校公開について

教務部

先月はお忙しい中、個人面談・家庭訪問、誠にありがとうございました。さて、6月2日（金）3日（土）には、学校公開があります。ここ2～3年は、コロナ禍の中で感染防止対策のために保護者の皆様には様々なお願いをしてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げになったことで、今回からは特に制限は設けません。是非ご来校いただき、お子さんの学校での様子をご覧いただければと存じます。また参観時のマスク着用も個人の判断となります。マスクの着用・非着用で偏見の目がないよう、重ねてよろしくお願いいたします。

また、現在七小の東門は工事のために通ることはできません。東門を利用される方は学童の南側からの臨時通用口から校庭を通ってお入りください。自転車で来られる方は学童の前の駐輪をお願いいたします。



◎七小の特別支援教育について

特別支援コーディネーター

一人一人の学習を保証することは、学校の責務です。しかし、一人で困っている児童や解決がうまくできずに周りを困らせてしまう児童もいます。それは、本人だけが悪いのではなく、個人個人の個性でもあります。まずは自分自身を知り、そこに少し特別な支援をすることで回りと同じように学んでいけるようになるのが「特別支援教育」です。

本校の特別な支援の体制は次の通りです。まず、コミュニケーションの支援を行うのがステップ教室（月火木金）です。数人のグループで、SST（ソーシャルスキルトレーニング）やワークシート、話し合い活動、動作の基礎等を行います。また、専門員はステップ教室の教員と学級担任とのつなぎ役を果たします。巡回心理士の先生も年間8回来校してサポートしてくれます。一方、学習の支援をするのがリソースルームです。学級とは別の教室で、少人数（1～2人）で既習学習の復習を主に学習支援を行います。他にも、学期に1回ずつ来校して全児童を見てくださる明星大学の小貫悟教授。児童だけでなく保護者のご相談にも応じてくださるスクールカウンセラー（週2回）。様々な立場から多くの目で本校の児童を見守り、支援を行っていきます。なにか心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

◎ハケ岳移動教室に行ってきました

5学年担任

5年生は5月18日（木）・19日（金）の2日間で、ハケ岳移動教室に行ってきました。友達と宿舍で生活したことや自然豊かな場所で経験をしたことは、普段の学校生活では味わえないものでした。

1日目は、晴天に恵まれマス釣り体験やハイキングをしました。マス釣り体験では、自分たちで釣ったニジマスをも自分たちで捌き、美味しくいただきました。命をいただくことの大切さを学びました。ハイキングでは、ハケ岳の山々、植物や川などの多くの自然を間近で見ることができました。全員で歩き遂げ、達成感を感じていました。そのあとに清泉寮でソフトクリームを食べ、満足そうでした。

2日目は、生憎の雨ではありましたが、早朝に遊歩道を歩き、陶芸教室でお茶碗をつくり、滝沢牧場に行きました。陶芸教室では、均等にきれいに伸ばすことが難しそうでしたが、短い時間で集中し、楽しく作ることができました。滝沢牧場では、命の学習や乳しぼり体験、馬のブラッシング、動物の餌やり体験をしました。動物と触れ合いながら生命の尊さを肌で感じるすることができました。クラス写真や学年写真もたくさん撮ることができ、思い出ができました。

関わっていただいた全ての方々のおかげで、2日間大きなケガや事故もなく無事に帰ってくることができました。様々な活動を通して、子供たちは自主性や協力することの大切さ、思いやりや感謝の気持ちを大自然の中で学んでいくことができました。

